

1 中学1年の漢字①

教科書
P.6~P.34

制限時間
20分

合格点
80点

点

とめ、はね、はらいなども採点の対象となります。ていねいに書きましょう。

漢字で書きましょう。(3点×30問=90点)

1	みな [] さんの意見	2	はさむ [] 話に口を	3	あせ [] 運動して	をかく	
4	おそく [] 時間が	なった	5	ふつう [] 電車の	6	げんこう [] 校内放送の	か を書く
7	じっしやう [] 野球の	ほうそう 放送	8	ちゆうけい [] 電波の	きよく 局	9	ぬける [] 商店街を通り
10	はねて [] 飛び	よるこ 喜ぶ	11	とる [] 川で魚を	12	こめて [] 心を	もてなす
13	もうれつ [] な風が吹く	14	かんそう [] 木材を	させる	15	あつかう [] 文化財を	
16	そぼく [] な人から	17	だれ [] かの助け	18	かくす [] 両手で顔を		
19	しんせん [] な野菜	20	なみだ [] 感動の	21	つまって [] 思い出が	いる	
22	しんけん [] な表情	23	かくしん [] 事件の	24	さいまつ [] のセール		
25	ひゆ [] 表現を用いる	26	かなづかい [] 正しい	27	ちがう [] 考え方が		
28	ぼうせん [] 大事なところに	ひ を引く	29	こっき [] して勉学にはげむ	30	ぶんぴつ [] ホルモンが	される

漢字の読みを書きましょう。(2点×5問=10点)

例	まっぴ てがみ 手紙の 末尾	1	れいたん [] 態度	2	どろ [] を築く
3	ゆうぜん [] と構える	4	しせい [] の上で昼寝する	5	おんなざ [] の運勢

6 音読み・訓読み

教科書
P.41~P.69

制限時間
20分

合格点
80点

点

音読みとは、中国から漢字が伝わったときの、中国語に基づいた読み方です。

訓読みとは、日本古来の言葉を、同じ意味を表す漢字に当てはめた読み方です。

下線部の漢字の読み方が音読みなら「音」、訓読みなら「訓」と書きましょう。(2点×20問=40点)

① 深海	② 野山	③ 工作	④ 新聞	⑤ 谷間
⑥ 先生	⑦ 右手	⑧ 水中	⑨ 父親	⑩ 教科
⑪ 読書	⑫ 野原	⑬ 名前	⑭ 安心	⑮ 夜中
⑯ 里山	⑰ 神話	⑱ 空気	⑲ 子犬	⑳ 緑色

漢字の読みを書きましょう。(2点×15問=30点)

例 やかた ふる 古い 館 に住む	① ぶんしょう 文章を 練る	② ひがし ほうこう 東の方向を 指す	③ 平等 に分ける
④ 野外 で遊ぶ	⑤ 全く に似ていない	⑥ ぶたい 舞台の 上手	⑦ 畑作 がさかんだ
⑧ 過去 にさかのぼる	⑨ こくおう 国王に 仕える	⑩ 寒波 が訪れる	⑪ 小川 の流れ
⑫ 問屋 の主人	⑬ やま 山が 連なる	⑭ 勇ましい 兵士	⑮ 陸橋 を渡る

手書きの文字に対して、本やパソコンなどの文字を活字といいます。

明朝体 … 読みやすく、最もよく使われる活字。例) 漢字の音読みと訓読み

ゴシック体 … 線の太さが一定で、見出しなどによく使われる活字。例) 漢字の音読みと訓読み

教科書体 … とめ、はね、はらいが正確で、教科書などによく使われる活字。例) 漢字の音読みと訓読み

代表的な活字の特徴と字体を線で結びましょう。(10点×3問=30点)

明朝体	ゴシック体	教科書体
・	・	・
・	・	・
読みやすく、 最もよく使われる。	とめ、はね、はらいが正確で、 教科書などによく使われる。	線の太さが一定で、 見出しなどによく使われる。
・	・	・
・	・	・
活字の種類	活字の種類	活字の種類

13 部首

教科書

P.139~P.154

制限時間

20分

合格点

80点

点

漢字のグループ分けの基準となる部分を、部首といいます。

へん	つくり	かんむり	あし	にょう	たれ	かまえ
きへん 校、村、林 のぎへん 科、秋、和 りっしんぺん 忙、快、悔 ひへん 晴、明、時	おおがい 頭、顔、頃 りっとう 刈、刑、別 おおざと 邪、郊、部 あくび 次、欲、欧	たけかんむり 答、筆、笛 うかんむり 家、宿、室 あなかんむり 空、窓、究 わかんむり 写、冠、冗	こころ 感、思、意 したごころ 恭、慕、忝 れっか 点、烈、焦 さら 盆、盗、盛	しんにょう 道、通、近 えんにょう 延、建、廻 そうにょう 起、趣、超 かんにょう 出、凶、凹	がんだれ 原、厚、厘 まだれ 広、床、店 やまいだれ 病、痛、症 しかばね 屋、尽、属	くにかまえ 国、囟、回 もんがまえ 門、間、開 かくしがまえ 医、区、匿 ぎょうがまえ 街、衝、衛

次の部首がつく漢字を、下から1つずつ選んで書きましょう。(2点×20問=40点)

① くまへん	② ひへん	③ けものへん	④ てへん	⑤ かねへん
⑥ おおがい	⑦ ちから	⑧ ふるとり	⑨ わかんむり	⑩ ひとやね
⑪ れっか	⑫ さら	⑬ しんにょう	⑭ そうにょう	⑮ えんにょう
⑯ かんにょう	⑰ しかばね	⑱ かくしがまえ	⑲ はこがまえ	⑳ ぎょうがまえ

建 猿 起 頭 凸 軽 盆 写 灯 街 功 迷 銀 匠 指 局 匹 雄 煮 全

漢字の部首名を書きましょう。(2点×20問=40点)

① 体	② 紙	③ 読	④ 社	⑤ 池
⑥ 列	⑦ 歌	⑧ 都	⑨ 宇	⑩ 第
⑪ 悲	⑫ 照	⑬ 慕	⑭ 遊	⑮ 越
⑯ 序	⑰ 厄	⑱ 疲	⑲ 固	⑳ 閉

漢字の部首の意味を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

① 代	② 持	③ 猫	④ 祝	⑤ 刈
⑥ 空	⑦ 雲	⑧ 道	⑨ 庁	⑩ 国
刀	人	雨	神	手
		屋根	行くこと	動物
				囲み
				穴

52 類義語・対義語

教科書

P.152~P.181

制限時間

20分

合格点

80点

点

似た意味の語を類義語といいます。例)のぼる⇨あがる、形見⇨遺品

類義語はいつも置き換えられるとは限りません。例)○展望台にのぼる→展望台にあがる、×月がのぼる→月があがる

類義語を下から選び、漢字に直して書きましょう。(2点×20問=40点)

① きほん 基本 ⇨ <input type="text"/>	② かいりょう 改良 ⇨ <input type="text"/>	③ えいえん 永遠 ⇨ <input type="text"/>	④ しょうしつ 消失 ⇨ <input type="text"/>						
⑤ すいりょう 推量 ⇨ <input type="text"/>	⑥ げん ど 限度 ⇨ <input type="text"/>	⑦ げんりょう 原料 ⇨ <input type="text"/>	⑧ けんやく 儉約 ⇨ <input type="text"/>						
⑨ いっぱん 一般 ⇨ <input type="text"/>	⑩ けってん 欠点 ⇨ <input type="text"/>	⑪ てんねん 天然 ⇨ <input type="text"/>	⑫ しゅだん 手段 ⇨ <input type="text"/>						
⑬ さんせい 賛成 ⇨ <input type="text"/>	⑭ はったつ 発達 ⇨ <input type="text"/>	⑮ ふ さい 負債 ⇨ <input type="text"/>	⑯ ぶ じ 無事 ⇨ <input type="text"/>						
⑰ よう い 用意 ⇨ <input type="text"/>	⑱ ち い 地位 ⇨ <input type="text"/>	⑲ げんいん 原因 ⇨ <input type="text"/>	⑳ ちょうほう 重宝 ⇨ <input type="text"/>						
すいそく	ざいりょう	ふつう	かいぜん	あんぜん	しんぼ	しぜん	じゅんび	どうき	しょうめつ
どうい	きそ	べんり	ほうほう	たんしょ	げんかい	みぶん	えいきゅう	せつやく	しゃっきん

()に合う語を後から選んで書きましょう。(2点×4問=8点)

① バスを()。	川を()。	下の階に()。	おりる、くだる
② 山に()。	気温が()。	空に太陽が()。	のぼる、あがる
③ ねじを()。	本を()。	門を()。	とじる、しめる
④ 花が()。	穴を()。	くじゃくが羽を()。	ひらく、あける

反対の意味の語を対義語といいます。例)以上⇨以下、長い⇨短い

一つの語に複数の対義語がある場合があります。例)現在⇨過去・未来、退社⇨入社・出勤

対義語になるように、□に合う漢字を書きましょう。(2点×20問=40点)

① あか じ 赤字 ⇨ □ 字	② いん せい 陰性 ⇨ □ 性	③ しん か 進化 ⇨ □ 化	④ こうおん 高温 ⇨ □ 温
⑤ し ぎょう 始業 ⇨ □ 業	⑥ せいじょう 正常 ⇨ □ 常	⑦ あくどく 悪徳 ⇨ □ 徳	⑧ しゅかん 主観 ⇨ □ 観
⑨ しょうきょく 消極 ⇨ □ 極	⑩ へんしん 返信 ⇨ □ 信	⑪ ぜったい 絶対 ⇨ □ 対	⑫ だんたい 団体 ⇨ 個 □
⑬ きょ か 許可 ⇨ 禁 □	⑭ ふくざつ 複雑 ⇨ 単 □	⑮ げんじつ 現実 ⇨ 理 □	⑯ き お 義務 ⇨ 権 □
⑰ げんいん 原因 ⇨ 結 □	⑱ ぐ たい 具体 ⇨ 抽 □	⑲ かくだい 拡大 ⇨ 縮 □	⑳ ほ しゅ 保守 ⇨ 革 □

下線部の対義語になるように、□に合う漢字を書きましょう。(4点×3問=12点)

① 肉が <u>高い</u> ⇨ □	② 服を <u>脱ぐ</u> ⇨ □	③ 家が <u>暑い</u> ⇨ □
点が <u>高い</u> ⇨ □	靴を <u>脱ぐ</u> ⇨ □	本が <u>厚い</u> ⇨ □

1 中学1年の漢字①

教科書
P.6~P.34

制限時間
20分

合格点
80点

点

とめ、はね、はらいなども採点の対象となります。ていねいに書きましょう。

漢字で書きましょう。(3点×30問=90点)

1	みな 皆 ^{いけん} さんの意見	2	はさむ はなし くち 話に口を挟む	3	あせ うんどう 運動して汗 ^{あせ} をかく
4	おそく じかん 時間が遅 ^{おそく} くなった	5	ふつう でんしゃ の 普通電車に乗る	6	げんこう こうないほうそう 校内放送の原稿 ^{げんこう} を書く
7	じっじょう やきゅう 野球の実況 ^{じっじょう} 放送	8	ちゅうけい でんば 電波の中継 ^{ちゅうけい} 局	9	ぬける しょうてんがい とお 商店街を通り抜ける ^{ぬける}
10	はねて と飛び 跳ねて ^{はねて} 喜ぶ	11	とる かわ さかな 川で魚を捕 ^{とる} る	12	こめて こころ 心を込めて ^{こめて} もてなす
13	もうれつ かぜ ふ 猛烈な風が吹く	14	かんそう もくざい 木材を乾燥 ^{かんそう} させる	15	あつかう ぶん かざい 文化財を扱 ^{あつかう} う
16	そぼく ひと 素朴な人から	17	だれ たす 誰かの助け	18	かくす りょうて かお 両手で顔を隠 ^{かくす} す
19	しんせん やさい 新鮮な野菜	20	なみだ かんどう 感動の涙 ^{なみだ}	21	つまって おも で 思い出が詰ま ^{つまって} っている
22	しんけん ひょうじょう 真剣な表情	23	かくしん じけん 事件の核心 ^{かくしん}	24	さいまつ さいまつ 歳末のセール
25	ひゆ ひゆげんもち 比喩表現を用いる	26	かなづかい ただ 正しい仮名遣い	27	ちがう かんが かた 考え方が違 ^{ちがう} う
28	ぼうせん だいじ 大事なところに傍線 ^{ぼうせん} を引く	29	こっき べんがく 克己して勉学にはげむ	30	ぶんぴつ ホルモンが分泌 ^{ぶんぴつ} される

漢字の読みを書きましょう。(2点×5問=10点)

例	まつび てがみ 手紙の末尾	1	れいたん れいたん 冷淡な態度	2	どるい どるい 土墨 ^{どるい} を築く
3	ゆうぜん ゆうぜん 悠然と構える	4	しばふ しばふ 芝生 ^{しばふ} の上で昼寝する	5	おとめざ おとめざ 乙女座 ^{おとめざ} の運勢

6 音読み・訓読み

教科書
P.41~P.69

制限時間
20分

合格点
80点

点

音読みとは、中国から漢字が伝わったときの、中国語に基づいた読み方です。

訓読みとは、日本古来の言葉を、同じ意味を表す漢字に当てはめた読み方です。

下線部の漢字の読み方が音読みなら「音」、訓読みなら「訓」と書きましょう。(2点×20問=40点)

① 深海 <u>海</u> 音	② 野山 <u>山</u> 訓	③ 工作 <u>作</u> 音	④ 新聞 <u>聞</u> 音	⑤ 谷間 <u>間</u> 訓
⑥ 先生 <u>生</u> 音	⑦ 右手 <u>手</u> 訓	⑧ 水中 <u>中</u> 音	⑨ 父親 <u>親</u> 訓	⑩ 教科 <u>科</u> 音
⑪ 読書 <u>書</u> 音	⑫ 野原 <u>原</u> 訓	⑬ 名前 <u>前</u> 訓	⑭ 安心 <u>心</u> 音	⑮ 夜中 <u>中</u> 訓
⑯ 里山 <u>山</u> 訓	⑰ 神話 <u>話</u> 音	⑱ 空気 <u>気</u> 音	⑲ 子犬 <u>犬</u> 訓	⑳ 緑色 <u>色</u> 訓

漢字の読みを書きましょう。(2点×15問=30点)

例 やかた ふる 古い <u>館</u> に住む	① ねる ぶんしょう 文章を <u>練</u> る	② さす ひがし ほうこう 東の方向を <u>指</u> す	③ びょうどう <u>平等</u> にわける
④ やがい <u>野外</u> で遊ぶ	⑤ まったく <u>全</u> く似ていない	⑥ かみて ぶたい 舞台の <u>上</u> 手	⑦ いなさく <u>畑作</u> がさかんだ
⑧ かこ <u>過去</u> にさかのぼる	⑨ つかえる こくおう 国王に <u>仕</u> える	⑩ かんぱ <u>寒波</u> が訪れる	⑪ おがわ <u>小川</u> の流れ
⑫ とんや <u>問屋</u> の主人	⑬ つらなる やま 山が <u>連</u> なる	⑭ いさましい <u>勇ましい</u> 兵士	⑮ りっきょう <u>陸橋</u> を渡る

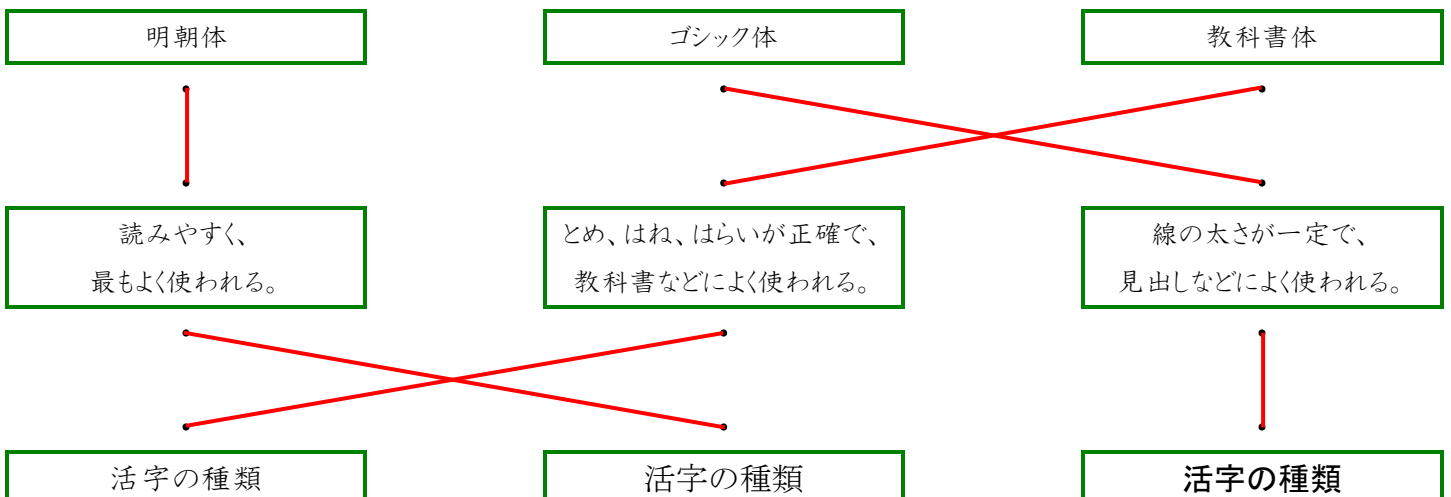
手書きの文字に対して、本やパソコンなどの文字を活字といいます。

明朝体 … 読みやすく、最もよく使われる活字。例) 漢字の音読みと訓読み

ゴシック体 … 線の太さが一定で、見出しなどによく使われる活字。例) 漢字の音読みと訓読み

教科書体 … とめ、はね、はらいが正確で、教科書などによく使われる活字。例) 漢字の音読みと訓読み

代表的な活字の特徴と字体を線で結びましょう。(10点×3問=30点)



13 部首

教科書

P.139~P.154

制限時間

20分

合格点

80点

点

漢字のグループ分けの基準となる部分を、部首といいます。

へん	つくり	かんむり	あし	にょう	たれ	かまえ
きへん 校、村、林 のぎへん 科、秋、和 りっしんぺん 忙、快、悔 ひへん 晴、明、時	おおがい 頭、顔、頃 りっとう 刈、刑、別 おおざと 邪、郊、部 あくび 次、欲、欧	たけかんむり 答、筆、笛 うかんむり 家、宿、室 あなかんむり 空、窓、究 わかんむり 写、冠、冗	こころ 感、思、意 したごころ 恭、慕、忝 れっか 点、烈、焦 さら 盆、盗、盛	しんにょう 道、通、近 えんにょう 延、建、廻 そうにょう 起、趣、超 かんにょう 出、凶、凹	がんだれ 原、厚、厘 まだれ 広、床、店 やまいだれ 病、痛、症 しかばね 屋、尽、属	くにかまえ 国、凶、回 もんがまえ 門、間、開 かくしがまえ 医、区、匿 ぎょうがまえ 街、衝、衛

次の部首がつく漢字を、下から1つずつ選んで書きましょう。(2点×20問=40点)

① くまへん 軽	② ひへん 灯	③ けものへん 猿	④ てへん 指	⑤ かねへん 銀
⑥ おおがい 頭	⑦ ちから 功	⑧ ふるとり 雄	⑨ わかんむり 写	⑩ ひとやね 全
⑪ れっか 煮	⑫ さら 盆	⑬ しんにょう 迷	⑭ そうにょう 起	⑮ えんにょう 建
⑯ かにょう 凸	⑰ しかばね 局	⑱ かくしがまえ 匹	⑲ はこがまえ 匠	⑳ ぎょうがまえ 街

建 猿 起 頭 凸 軽 盆 写 灯 街 功 迷 銀 匠 指 局 匹 雄 煮 全

漢字の部首名を書きましょう。(2点×20問=40点)

① 体 にんべん	② 紙 いとへん	③ 読 ごんべん	④ 社 しめすへん	⑤ 池 さんずい
⑥ 列 りっとう	⑦ 歌 あくび	⑧ 都 おおざと	⑨ 宇 うかんむり	⑩ 第 たけかんむり
⑪ 悲 こころ	⑫ 照 れっか	⑬ 慕 したごころ	⑭ 遊 しんにょう	⑮ 越 そうにょう
⑯ 序 まだれ	⑰ 厄 がんだれ	⑱ 疲 やまいだれ	⑲ 固 くにかまえ	⑳ 閉 もんがまえ

漢字の部首の意味を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

① 代 人	② 持 手	③ 猫 動物	④ 祝 神	⑤ 刈 刀
⑥ 空 穴	⑦ 雲 雨	⑧ 道 進行	⑨ 片 屋根	⑩ 国 囲み
刀	人	雨	神	手
屋根	行くこと	動物	囲み	穴

52 類義語・対義語

教科書

制限時間

合格点

P.152~P.181

20分

80点

点

似た意味の語を類義語といいます。例)のぼる⇨あがる、形見⇨遺品

類義語はいつも置き換えられるとは限りません。例)○展望台にのぼる→展望台にあがる、×月がのぼる→月があがる

類義語を下から選び、漢字に直して書きましょう。(2点×20問=40点)

① きほん 基本 ⇨ 基礎	② かいりょう 改良 ⇨ 改善	③ えいえん 永遠 ⇨ 永久	④ しょうしつ 消失 ⇨ 消滅						
⑤ すいりょう 推量 ⇨ 推測	⑥ げんど 限度 ⇨ 限界	⑦ げんりょう 原料 ⇨ 材料	⑧ けんやく 儉約 ⇨ 節約						
⑨ いっぱん 一般 ⇨ 普通	⑩ けってん 欠点 ⇨ 短所	⑪ てんねん 天然 ⇨ 自然	⑫ しゅだん 手段 ⇨ 方法						
⑬ さんせい 賛成 ⇨ 同意	⑭ はったつ 発達 ⇨ 進歩	⑮ ふさい 負債 ⇨ 借金	⑯ ぶじ 無事 ⇨ 安全						
⑰ ようい 用意 ⇨ 準備	⑱ ちい 地位 ⇨ 身分	⑲ げんいん 原因 ⇨ 動機	⑳ ちようほう 重宝 ⇨ 便利						
すいそく どうい	ざいりょう きそ	ふつう べんり	かいぜん ほうほう	あんぜん たんしょ	しんぼ げんかい	しぜん みぶん	じゅんぴ えいきゅう	どうき せつやく	しょうめつ しゃっきん

()に合う語を後から選んで書きましょう。(2点×4問=8点)

① バスを(おりる)。	川を(くだる)。	下の階に(おりる)。	おりる、くだる
② 山に(のぼる)。	気温が(あがる)。	空に太陽が(のぼる)。	のぼる、あがる
③ ねじを(しめる)。	本を(とじる)。	門を(しめる)。	とじる、しめる
④ 花が(ひらく)。	穴を(あける)。	くじゃくが羽を(ひらく)。	ひらく、あける

反対の意味の語を対義語といいます。例)以上⇨以下、長い⇨短い

一つの語に複数の対義語がある場合があります。例)現在⇨過去・未来、退社⇨入社・出勤

対義語になるように、□に合う漢字を書きましょう。(2点×20問=40点)

① あかじ 赤字 ⇨ 黒字	② いんせい 陰性 ⇨ 陽性	③ しんか 進化 ⇨ 退化	④ こうおん 高温 ⇨ 低温
⑤ しぎょう 始業 ⇨ 終業	⑥ せいじょう 正常 ⇨ 異常	⑦ あくとく 悪徳 ⇨ 美德	⑧ しゅかん 主観 ⇨ 客観
⑨ しょうきょく 消極 ⇨ 積極	⑩ へんしん 返信 ⇨ 往信	⑪ ぜったい 絶対 ⇨ 相對	⑫ だんたい 団体 ⇨ 個人
⑬ きょか 許可 ⇨ 禁止	⑭ ふくざつ 複雑 ⇨ 単純	⑮ げんじつ 現実 ⇨ 理想	⑯ きむ 義務 ⇨ 権利
⑰ げんいん 原因 ⇨ 結果	⑱ ぐたい 具体 ⇨ 抽象	⑲ かくだい 拡大 ⇨ 縮小	⑳ ほしゅ 保守 ⇨ 革新

下線部の対義語になるように、□に合う漢字を書きましょう。(4点×3問=12点)

① 肉が <u>高い</u> ⇨ <u>安い</u>	② 服を <u>脱ぐ</u> ⇨ <u>着る</u>	③ 家が <u>暑い</u> ⇨ <u>寒い</u>
点が <u>高い</u> ⇨ <u>低い</u>	靴を <u>脱ぐ</u> ⇨ <u>履く</u>	本が <u>厚い</u> ⇨ <u>薄い</u>